

ニュースリリース 一般社団法人 日本出版取次協会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-7 info@torikyo.jp

2017年3月31日

関係者各位

一般社団法人 日本出版取次協会

一般社団法人日本出版取次協会 臨時総会を開催

一般社団法人日本出版取次協会は、3月30日に取次協会会議室において臨時総会を開催し、平成29年度事業計画、収支予算が承認された。

それに先立った理事会においては、平成29年度の重点的推進テーマである出版流通改革の推進について、2月に発足した発売日・輸送対策委員会から、今後の方向性と取り組みテーマ、その担当チームの報告がなされ、平林会長から「出版業界が一段と厳しい状況に置かれている。この委員会を通じ、各関連団体とも協議を行い、さらに改革を推進していったほしい」との発言があった。

一般社団法人日本出版取次協会 平成29年度推進テーマ

○出版流通改革の推進

出版物流の将来を想定した抜本的な改革が必要である。発売日・輸送対策委員会とテーマ別チームにおいて、今後も出版輸送を維持、継続していく為に輸配送問題の早期解決に取り組む。

前年度推進テーマである、出版流通インフラ整備も引き継ぎ、改革テーマに含め取り組む。

1. 発売日カレンダー
稼働日、休配日の設定、発売日の在り方と基本方針の策定を行い、次年度の対応を早急に図る。
2. 納品時間指定等の緩和
3. 自家配の共配化への推進
4. 土曜日の注文品の対応
5. 共同配送、混載配送、新聞流通の研究
6. 業量平準化、積込ルールの見直し
7. 発売日格差の是正

○出版流通インフラ整備の推進

1. 発売日格差是正
 - (1) 同一地区同時発売から全国一斉発売の推進。
昨年度に引き続き、地域間格差によって生ずる読者の不利益を解消するため、全国一斉発売の銘柄拡大に取り組む。
 - (2) 電子・ネット時代に適合する発売日協定のあるべき形を明確にしていく。
読者によって公平な購買機会と利便性、小売店に対する公平性などの公共の利益を確保することを前提に、現在の雑誌ビジネスに適合した「同一地区」「発売

日」の解釈を雑誌協会、日本書店商業組合など、業界各団体と検討する。

2. 出版物流（積載効率の改善）

(1) 「納品時間指定等の緩和」

選定された小売店（書店・CVS 店）に対し、時間指定などの納品条件の緩和を促進することにより、納品時の待ち時間削減や業量に応じたダイヤ組みの実施など配送効率を向上させる。

(2) 「業量平準化」

平日休配日を含めた休配日の在り方を早期に検討し、業量の平準化を図っていく。

(3) 「自家配の共配化」

自家配エリアについてできることから共配化し、配送網確保に努める。

3. 再販制度

(1) 再販制度を堅持していくため、現状の不都合な部分を整理し、出版再販研究委員会と協力して改善していく。制度疲労などの指摘もあり、再販制度も現状に対応して運用していく為、契約書の有効性、実効性を検証し、必要に応じて契約書のひな形の修正を検討していく。

(2) 弾力運用（時限再販・部分再販）の拡大、実績向上。

部分再販フェアを 4 団体で早期に開催できるよう検討していく。時限再販については、各取次において継続して実施できるよう支援していく。

4. IT インフラ

(1) JPO 出版情報登録センター 近刊情報登録及び、その内容の充実を促進していく。特に利用者側のニーズの高い内容情報、書影の 100%提供に向け、JPO と共同で促進をしていく。

(2) 新出版ネットワークにおける出版社からの請求明細書データの標準化を推進する。

前年度作成した取協推奨フォーマットを出版社に提供し、出版社との請求書照合業務の精度向上を図るべく、導入促進を図っていく。

本件に関するお問い合わせ先

日本出版取次協会 事務局 松尾 TEL03-3291-6763